

準用河川真星川詳細設計業務委託（7－1）

特記仕様書別紙

1.1 業務目的

本業務は、準用河川真星川の未整備区間において、護岸詳細設計を行うものである。

1.2 業務概要

「準用河川真星川河道改修計画検討業務委託（6－1）（以下、「過年度成果」と言う。）」において、未改修区間 L=1.5km の河道改修計画を作成した。

なお、上記の河道改修計画（整備目標：10 年確率）を踏まえ、当面の整備として流下能力が不足する箇所を対象とした暫定河道計画（整備目標：2 年確率以上）を併せて作成している。

本業務では、流下能力が不足する No. 10+100 付近について、暫定河道計画に基づき詳細設計等を行うものである。

1.3 業務内容

(1) 打合せ

業務着手時、中間時（1 回）、成果品納入時に打合せを行う。

(2) 河道改修設計

1) 平面図編集

「過年度成果」の平面図（UAV レーザ測量）を基に、別途発注の測量業務における基準点測量、路線測量結果を設計に反映させるため、平面図の追加・修正を行う。

2) 対策必要区間の精査（対象区間 L=200m（No. 10～No. 11））

「過年度成果」の流下能力不足箇所 No. 10+100 付近について、路線測量結果を踏まえて水理検討を行い、暫定河道計画の対策必要区間を精査する。

3) 暫定河道計画の精査

対策必要区間について、暫定河道計画の断面形状を検討する。

4) 護岸詳細設計（両岸 L=100m）

対策必要区間・暫定河道計画の精査結果を踏まえた護岸詳細設計を行う。

○設計計画

業務の目的・主旨を把握し、本業務の具体的な方針を示した業務計画書を作成する。

○現地踏査

「過年度成果」やその他業務に必要となる貸与資料を基に現地踏査を行う。

○基本事項の決定

設計上必要な基本事項の決定を行う。

○本体設計・施工計画

基礎工検討諸元設定に基づき、現況施設の状況、近接構造物及び土地利用状況、河川の利用形態等を踏まえた施工工程、施工順序、仮設計画等の施工計画を作成する。

○図面作成・数量計算

工事発注に必要な図面の作成及び「新土木工事積算体系」の工事工種に基づいた工種別数量のとりまとめを行う。

○照査・報告書作成

設計過程及び最終成果品の照査を行い、報告書として取りまとめを行う。